

MB & F

時計デザインはどこへ行く… [1]

2005年、マキシミアン・ブッサーはジャガー・ルクルトやハリー・ウィンストンで培った経験と人脈を生かして全く新しいコンセプトで時計創造をスタートした。マキシミアン・ブッサー&フレンズと名づけた時計開発のプロ集団は破天荒ともいえるアイデアの“ホロロジカル・マシン”(HM)を具現化するために、各自の技量を最大限に発揮し、すでに3モデルを生み出した。アバンギャルドなオブジェでもあるホロロジカル・マシンのひとつひとつは最先端技術と伝統的な機械式時計製造の融合でもある。



HM No.1

2006年に完成。マキシミアン・ブッサーのアイデアをベースにデザイン、技術開発、製造に16人が関わった。ディミエ社製、Cal.1738をベースに、中央にトゥールビヨン、左に時表示、右に分表示とパワーリザーブ表示をおく。4つの香箱を左右にふたつずつ配置し、約7日間のパワーリザーブをもつ。毎時2万8800振動。ケース・サイズ縦49×横64×厚さ14mm。18Kホワイトゴールド。3気圧防水。価格・入荷時期未定。



HM No.2

2008年に完成した第2作目。「1980年代のSF映画で見たバブルのなかに息づく生命体をイメージした」というマキシミアン・ブッサーのアイデアをベースに、18人がプロジェクトに参加。ジラルド・ベルゴ製自動巻きムーブメントをベースにジャンピングアワー、レトログランド式分表示と日付表示、南北両半球の月齢表示を備える。毎時2万8800振動。パワーリザーブ約46時間。ケース・サイズ縦38×横59×厚さ13mm。18Kレッドゴールドとチタン。3気圧防水。価格769万6500円

ハリー・ウィンストンの「オーパス」プロジェクトの仕掛け人、マキシミリアン・ブッサーは2005年にMB&Fを創設した。MB&Fとはマキシミリアン・ブッサー & フレンズの略で、彼の会社名であると同時に、彼のアイデアを形にするためにプロジェクト毎に集められるプロ集団を指す。デザイナーから最終組み立てにあたる時計師まで、企画に適した約20人が共同作業を行ない、すでに3モデルが完成した。マキシミリアン・ブッサーの発想の源は子ども頃の記憶にある。SF映画に登場した宇宙船や未知の生命体、コミックの主人公が操る武器など、幼い日の記憶や夢がアイデアに反映されている点が興味深い。たとえば自動巻きローターの形状は永井豪原作のアニメ「UFOロボグレンダイザー」に登場する武器「ダブルハーケン」から発想したという。フレンズの高度な技術力を藉りに、奇抜な発想を「ホロロジカル・マシン」に仕上げた高級機械式時計に昇華するMB&Fは、デザインの過激さを増しながらスイス時計の旧習を打ち破る。



HM No.3

2009年3月発売予定の第3作目は、時(24時間表示)と分を表示するふたつのサファイアクリスタルのコーンが特徴で、コーンが手首と水平に並ぶ「スタークルーザー」(写真・左)と、リュウズをサイドに置いた「サイドワインダー」(写真・右)の2モデルがある。ムーブメントを反転して搭載し、表側に「ダブルハーケン」型のローターを見ることが出来る。また裏側には動力を効率的に表示機構に伝達するための、直径15mmのセラミックス製ボールベアリングが2個、配置される。ムーブメント周囲には大型の日付表示リングを備える。ジラルール・ベルゴ製自動巻きムーブメントをベースに、アジェノー社のジャン・マーク・ヴィーダーレヒトが設計し、製品完成までに24名が参加した。毎時2万8800振動。パワーリザーブ約46時間。ケース・サイズ47×50×厚さ16mm。3気圧防水。18KWGとチタン/18KRQとチタン。共に価格・入荷時期未定。